

英字新聞の読み方 基礎編その2

P a r t 6

例文 5

Back on center stage, and defiant as ever

(再び注目の的へ、相変わらず大胆に)

One day after her release / from house arrest, / the pro-democracy leader **Daw Aung San Suu Kyi** / **called on** / thousands of cheering supporters in Myanmar / not to be afraid / and to join her / in her struggle for political change.

(カンドころ) このリード文は主語で始まっていない変則型です。変則型では状況説明で始まっていますから、そのカンマの後に本来の主語と述語があります。Daw Aung San Suu Kyi という人名が出てきますからそれが主語です。次が動詞の call on です。not to be … and to join her … と呼びかけの内容を伝えています。

(語い) release: 解放、house arrest: 自宅軟禁、the pro-democracy leader: 民主化運動の指導者、Daw Aung San Suu Kyi : アウンサンスーチー、called on : ~を呼びかける、cheering supporters : 声援する支援者、not to be afraid : 恐れずに、to join her : 彼女と一緒に、struggle : 闘い、political change : 政治的変革

(区切りで順に訳すと) 解放後一日たって／自宅軟禁から／民主化運動の指導者アウンサンスーチー氏は／～に～を呼びかけた／ミャンマーの何千もの声援する支援者に／恐れずに／彼女と一緒に／なることを／政治的変革のため彼女の闘いの中で

肝心な部分は、「民主化運動の指導者アウンサンスーチー氏が一緒に闘う事を呼びかけた」です。

こうして例文を見てくると、区切るところがある程度規則的になっているのがわかります。語群で区切ると全体の意味がつかみやすくなると思います。ぜひこの方法で続けて記事を読んでみてください。

今回は、英文記事のなかによく使われる to のつくフレーズについて取り上げます。